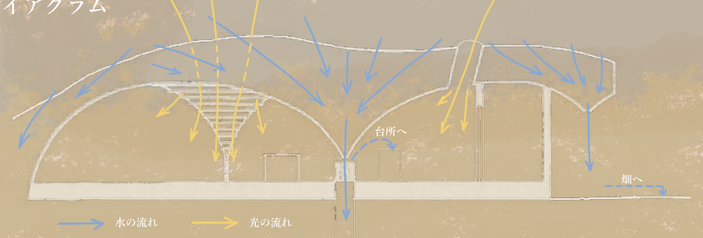
土壌の声を聞く住まい

聞こえてきます、水の流れる音が。葉が奏でている音が。根の張る音が。
鳥も、ミミズも、モグラも、我々に語りかけているのです。
人間は、その自然の音を遮ってはいけません。
自然の中で生きる。自然と共に生きる。
それが、我々の未来を豊かにする残された可能性なのではないでしょうか。

1. 住まいの形

対象敷地：宮城県大崎市

ダイアグラム

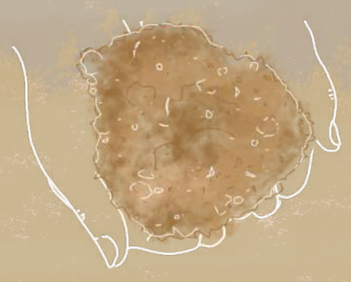


屋根は、自然から人間を守り、水や他の生物から隔てる役割を果たしてきた。しかし、屋根が自然を受け入れ、水と光を取り入れることで、人間と自然の接点を形成できる。この接点が、持続可能な生活様式の実現を促進し、自然との共生を可能にする。

屋根は単なる防護の役割を超え、環境に配慮した新しい空間を創出する重要な要素となる。

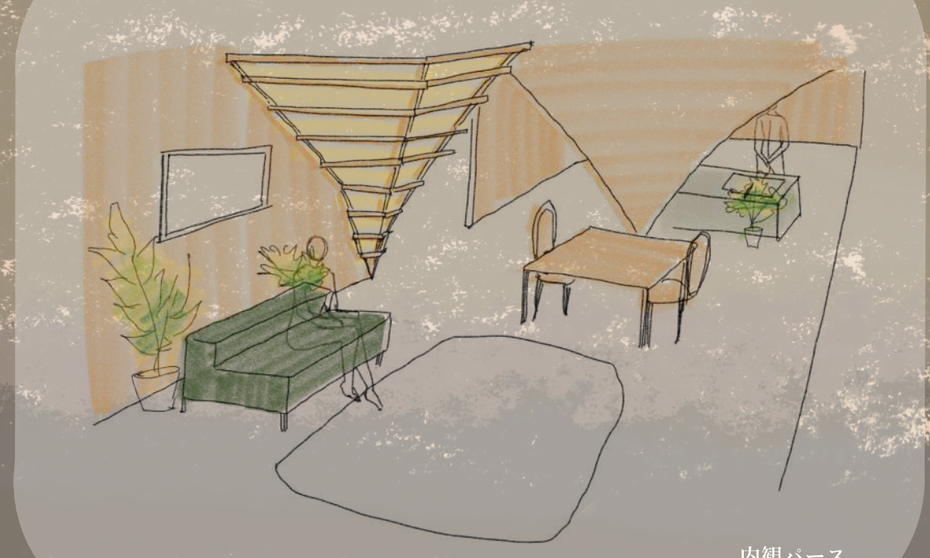
平面プラン

現代に生きる私たちは土を購入し消費している。自然に無限に存在すると思われる土は、人の営みの連関のなかで微生物と共存し育まれる。

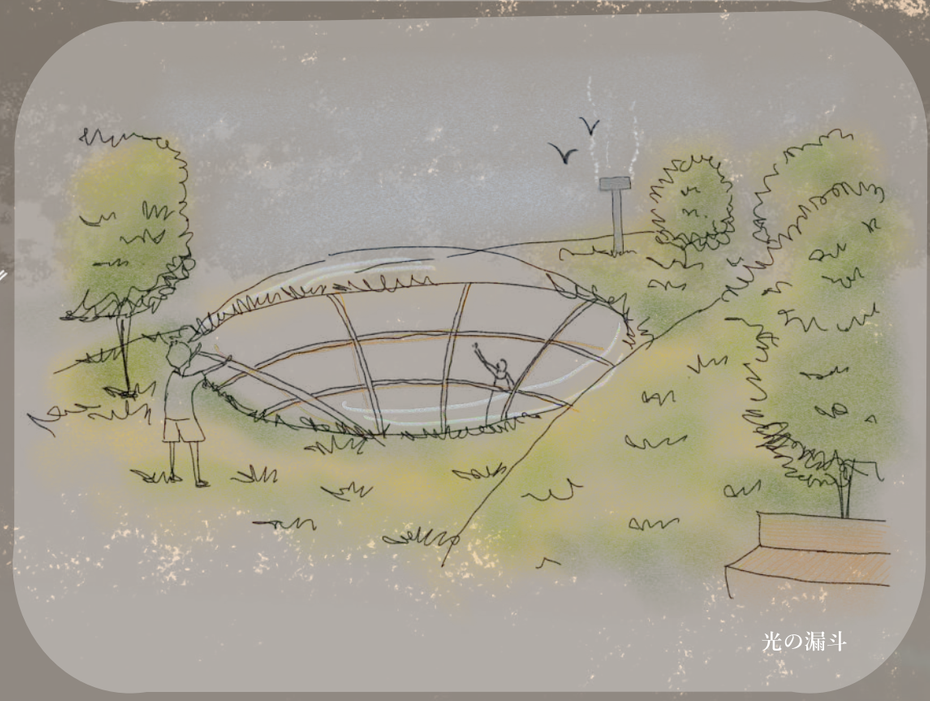


この住まいは、土の中、地上、空に様々な生物が住んでいる。

外観パース



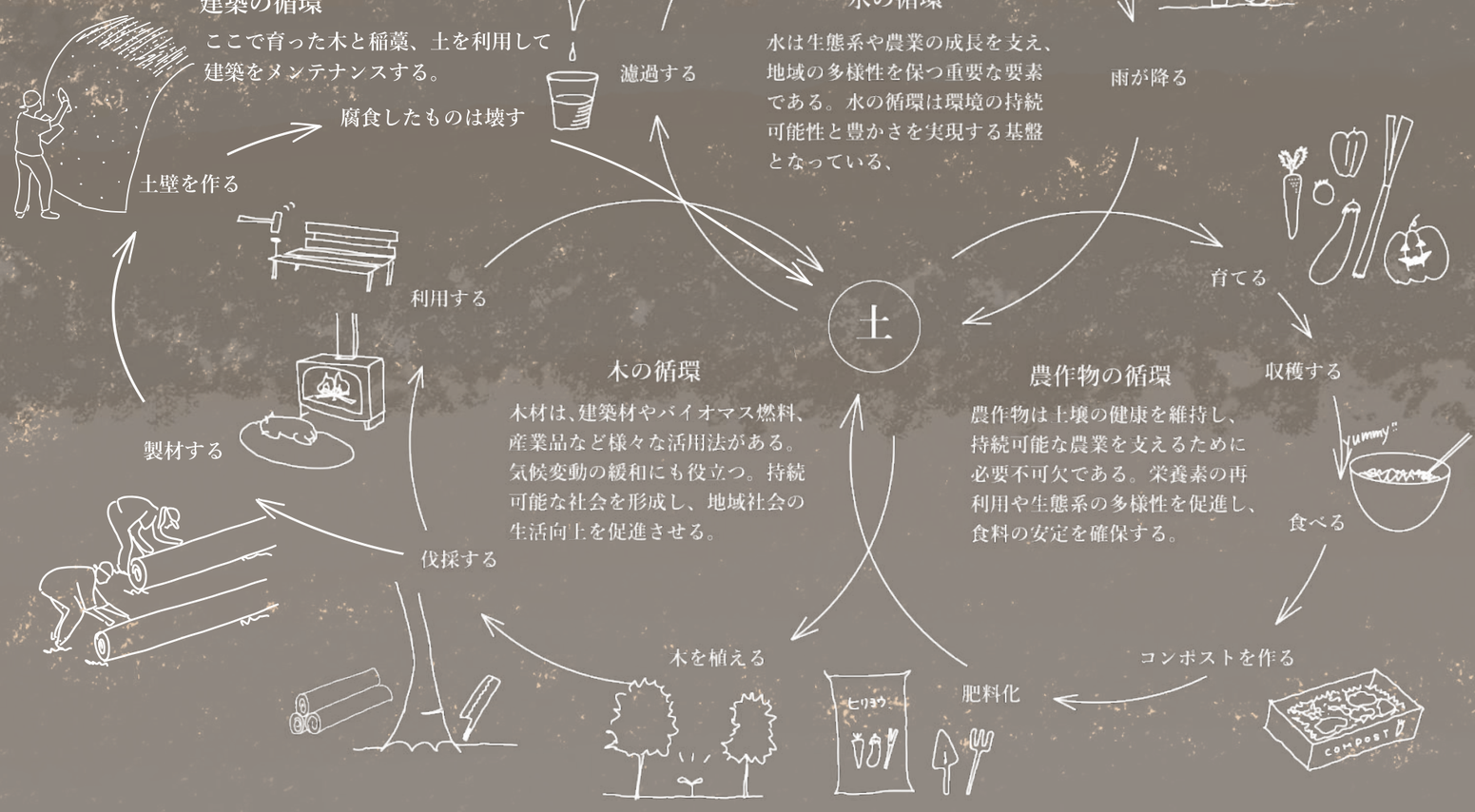
内観パース



光の漏斗

2. 循環プログラム

農作物、木、水は互いに密接に関係し、土壌の豊かさを高める要素である。農作物や木は土壌に栄養を供給し、微生物活動を促進することで土の質を向上させる。豊かな土壌は農作物や木の成長を支え、健康な水環境を維持する。この三者の相互作用は、持続可能な生態系を形成し、自然の循環を通じてより豊かな環境を生み出す。土壌、農作物、木、水の関係は、自然界における調和の象徴で、持続可能な未来を築くための基盤になる。



建築の循環

ここで育った木と稲藁、土を利用して建築をメンテナンスする。

水の循環

水は生態系や農業の成長を支え、地域の多様性を保つ重要な要素である。水の循環は環境の持続可能性と豊かさを実現する基盤となっている、

木の循環

木材は、建築材やバイオマス燃料、産業品など様々な活用法がある。気候変動の緩和にも役立つ。持続可能な社会を形成し、地域社会の生活向上を促進させる。

農作物の循環

農作物は土壌の健康を維持し、持続可能な農業を支えるために必要不可欠である。栄養素の再利用や生態系の多様性を促進し、食料の安定を確保する。